

《いしい しんじ 氏（作家）プロフィール》

1966年大阪市生まれ。京都大学文学部仏文学科卒。

1994年『アムステルダムの犬』でデビュー。1996年、短篇集『とーきょーいししいあるき』刊行（のち『東京夜話』に改題して文庫化）。2000年、初の長篇『ぶらんこ乗り』刊行。2003年『麦ふみクーツェ』で坪田譲治文学賞、2012年『ある一日』で織田作之助賞、2016年『悪声』で河合隼雄物語賞を受賞。

その他の小説に『プラネタリウムのふたご』（講談社）、『ポーの話』『海と山のピアノ』（新潮社）、『みずうみ』（河出書房新社）、『四とそれ以上の国』（文藝春秋）、『よはひ』（集英社）、エッセイに『京都ごはん日記』（河出書房新社）、『且坐喫茶』（淡交社）、『毎日が一日だ』（毎日新聞社）など。

現在、京都市在住。

これまで「明倫レコード倶楽部」（京都芸術センター事業）のほか、京都の書店と連携したイベントに多数出演。ロームシアター京都オープニング事業「やわらかなかぐら」では初脚本を務めた。

《原田 マハ 氏（作家）プロフィール》

1962年、東京都生まれ。関西学院大学文学部日本文学科及び早稲田大学第二文学部美術史科卒業。馬里邑美術館、伊藤忠商事を経て、森ビル森美術館設立準備室在籍時に、ニューヨーク近代美術館に派遣され勤務。

2005年、『カフーを待ちわびて』で日本ラブストーリー大賞を受賞しデビュー。2012年、『楽園のカンヴァス』で山本周五郎賞受賞。2017年、『リーチ先生』で新田次郎文学賞受賞。2018年、京都を舞台とした小説『異邦人』で第6回京都本大賞を受賞。

著書に『総理の夫』（実業之日本社文庫）、『サロメ』（文藝春秋）、『あなたは、誰かの大切な人』（講談社文庫）、『アノニム』（KADOKAWA）、『たゆたえども沈まず』（幻冬舎）など多数。最新刊は『常設展示室』（新潮社）。

国立西洋美術館の礎となった松方コレクションを巡る物語『美しき愚かものたちのタブロー』（文藝春秋）を5月31日に発売予定。

これまで「京博連創立25周年記念シンポジウム」

（2018年2月、京都新聞文化ホール）や「京都 日本画新展」記念シンポジウム（2019年1月、先斗町歌舞練場）等に出演。



©森 栄喜